

令和3年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	40	学校名	県立科学技術高等学校	記載者	梶山 佳明
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日常の学習習慣を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業に主体的に取り組んでいると答える生徒90%以上 授業の内容がよく分かる」と回答する生徒90%以上 教員は授業を大切にするとともに、分かりやすい授業を行おうと努めていると答える保護者80%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 目標値には届いていないものの、授業に主体的に取り組む生徒が84.3%もいることが素晴らしい。授業がよく分かる生徒が84.6%というのも素晴らしい。 これはやっていないというより、コロナの影響もあり、保護者への発信が難しかったと思われます。 ウィズコロナ時代に生徒のモチベーションを維持し、保護者の理解を得るためにも、コミュニケーションが今以上に大切になると思います。 保護者懇談会を開けない場合の情報提供方法（WEB会議の活用等）も検討してみてもはいかがでしょうか。 コロナ禍で思い通りの活動ができない不便さを皆が共有し、逆にできるときには精いっぱいやるよう意識転換が図れば自主性も上がると思います。 コロナ禍での工夫を模索してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 1日、授業、課外活動、家庭の合計時間が10時間達成50%以上。 学習と部活動等の課外活動が両立できていると答える生徒70%以上 	B	B	
		<ul style="list-style-type: none"> 教養力テストの実施 	B	B	
	<ul style="list-style-type: none"> 12回は大変だったと思われます。 量的目標から質的目標（生徒の意識等）に。 	A	A		
	個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 手帳等を活用し、生活習慣を整え、学習時間やスケジュールの管理ができていく生徒60%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 目標値に対して達成状況がかなり低いのが気になります。目標値が少々高すぎるようにも思えます。 教員も一緒に手帳を使用し、活用することの大切さを共に考える。成功する将来の自分を描く、日常を記録する、振り返る、予定を立てることの重要性。就職後、手帳（スマホによる管理？）が必需品となる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に対する夢や希望を持っていると答える生徒80%以上 ・信頼できる先生がいると答える生徒80%以上 ・きめ細やかで適切な進路指導がなされていると答える保護者 80%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・3年計画の指導なので、3年生の保護者が90%近い達成度を示しているということは全体としても十分な成果が出ていると判断してよいと思います。 ・学年があがってくるにつれて将来のことを真剣に考え始める様子が数字に表れており、むしろ自然な流れを感じ評価します。 ・夢や希望を持つ生徒が学年進行とともに増加して3年生で目標に近づいている。保護者にとっても明るい希望である。 ・80%近い高校生がイエスと答えていることは誇れることであり、さらに上を目指してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学合格者60人以上 ・就職内定率100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・面倒見の良い職員が多いということですね。 ・素晴らしい実績をあげていらっしゃると思います。
	部活動を効率的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加している生徒70%以上 ・学校が楽しいと答える生徒70%以上 ・部活動ガイドライン等を踏まえ、適切な指導ができたと答える教員90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での部活動でも成果が出ていて素晴らしい。学校が楽しい生徒が84%というのは信じがたい数字です。素晴らしい。教職員は自己評価が厳しくなるので、75%を超えるだけでも大きな成果が出ていると判断してよいと思います。 ・学業と部活動の両立が図られていることを評価します。
	生徒主体の活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が企画した事業の実施年2回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での生徒会活動は制限が多くてかわいそうでした。 ・生徒が主体となって活動しているのは素晴らしいと思います。 ・学業や課題研究においても生徒主体の活動を推進してください。
イ	探究的な教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究への主体的な取組を促すとともに、STEAM教育等の教科横断的な取組を実践する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・どの科も課題研究に主体的に取り組み、科技高ならではの活動ができていると思います。コロナ禍での発表会で傍聴者が少なくなってしまうのは残念でしたが、今後も大いに力を入れて欲しい活動です。 ・課題研究が充実していると思います。縦のつながり、発表の場などを工夫し、さらなる発展を目指してほしい。課題研究だけでなく授業・部活などあらゆることに探究的な教育方法を模索してください。探究・研究は、今後の生徒たちの生き方につながるものです。

様式第5号

	<p>専門分野の能力を向上させるとともに、必要な資質を育む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場、全国規模のコンクール等の入賞 ・国家資格等の高度な資格に挑戦させ、受験者数及び合格者数の増加。 ・全学科で記述者倫理に関する指導を行う。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野で全国大会出場、コンクール入賞を果たし素晴らしい成果をあげています。電気工事士をはじめ、様々な国家資格等の高度な資格に合格者がたくさん出ており、学校として非常に面倒見がよいのが分かります。 ・技術面だけでなく。倫理面モラル面での教育にも力が入れているのが素晴らしい。科学技術の進歩が人間の生活を本当に豊かで安心なものになるかを考えさせることは本当に大切です。 ・ものづくり系の企業によるデータ不正が問題になっている。改竄、捏造、偽造など、ひととしてしてはいけないことを学んでほしい。
ウ	<p>グローバル化への対応と国際理解教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一層充実した研修ができるように検討する。 ・英語検定等の受験者数の増加（CEFR B1及びA2レベルの生徒数の増加） 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で海外研修ができなかったのは残念でした。 ・英検の受験者が増加しているのは良い傾向だと思います。 ・次代を担う若者に、グローバル化への対応力を身につけさせることは重要だと思います。
	<p>持続可能な社会の一員としての素養を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶がしっかりとできていると答える生徒95%以上 ・身だしなみがしっかりとできていると答える生徒95%以上 ・スマートフォン・携帯電話は適切に利用していると答える生徒80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの生徒は「しっかりとできている」と答えているのは素晴らしい。ただ、「できている」の中身については大人の感覚と生徒の感覚には差があるように思います。何のための「挨拶」なのか、何のための「身だしなみ」なのか、再確認しながら指導していただきたいと思います。 スマホの利用についても、非常に便利である一方、誤った使い方をすると事件や事故に巻き込まれたり、いじめに加担してしまったりすることになる危険性を秘めていることについて常に再確認の必要があると思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人当たりの年平均図書貸出冊数 2冊以上 ・図書館来館者数延べ10,000人以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の活用については、時代に合った活用法が研究されています。情報発信基地としての図書館の在り方を模索していく必要があるのではないのでしょうか。 ・「ブックトーク」など新しい取り組みを評価します。教員による職業選択や生き方に影響を与えた一冊紹介など、共に学び合う姿勢を大切にしてください。

		<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ、保育体験実習に参加した生徒の満足度 90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップが実施できたことは大きな成果だと思います。ネットやパンフレットからの情報よりも自分が実際に見て体験したものが一番役に立つ情報になると思います。 ・学びを働くという視点から見つめ直す良い機会になっていると思います。
		<ul style="list-style-type: none"> ・資源の大切さを意識させるとともに3Sの意味を理解し、積極的に取り組んでいると答える生徒 70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の効果が出ていると感じます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールの遵守に心掛けていると答える生徒 90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・これも、大人の評価と生徒の評価に差が出るのではないのでしょうか。 ・生徒の通学中の交通事故防止に引き続き努めてください。 ・一旦停止、自転車の道路左側通行など、できていない状況が時々見受けられる。
エ	カリキュラム・マネジメントを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい教育課程の編成 ・令和4年度から学校運営協議会制度を導入 	A B	A B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き柔軟で効率的な編成の工夫をよろしくお願いします。 ・学校運営協議会については既に実施している地域もありますので、成果や課題を研究し、静岡県にあったやり方を探って無理のない形で実施していただくのが良いと思います。特に教職員の人事権については熟慮が必要かと思います。
	特別支援教育体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談だよりを、月1回以上発行 ・1年生全員を対象としたカウンセリングを実施 ・個別の指導計画及び支援計画の作成 	B A A	B A A	<ul style="list-style-type: none"> ・高校における特別支援教育は課題も多いと思います。けれども避けては通れない時代のニーズですので更に研究を重ねていただきたいと思います。同時に、入試における特別支援が必要な生徒の受け入れもよろしくお願いします。 ・特別支援教育は時間も努力も必要とされるが、がんばっている。
	教職員の資質・能力の向上を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員90%以上 ・授業参観した教員70%以上 ・授業力自己診断を実施した教員90%以上 ・多様な測定ツールを用いてPDCAサイクルによる授業改善に取り組んだ教員90% 	A A A A	A A A A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の9割以上が研修の成果を授業等に活かしているというのは本当に素晴らしいと思います。また、互いに授業を見合える職員集団というのも素晴らしいと思います。 ・観点別評価を適切に実施するのは当たり前のように思いますが、60%達成でいいのでしょうか。 ・教職員の皆様が研鑽を積み重ねられている様子が伺え、高く評価します。 ・ウィズコロナ時代に情報通信機器の

様式第 5 号

	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価を適切に実施していると答える教員 60%以上 ・日常的に授業で I C T 機器を活用した教員 60%以上 	A	B	<p>I C T 活用は今や必須です。機器購入や維持のための予算確保や、情報セキュリティへの対応など課題も多いと思いますが、今後も I C T 機器の活用を進めていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I C T 機器活用の先進的な例、活用のよさを探る必要あり。
教職員のメンタルヘルスの増進及びコンプライアンスの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス及びコンプライアンスに関する研修の実施 1 回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も大切にしていきたいと思います。 ・講演会の実施など、意識を高める取り組みをお願いします。
学校教育活動に関する広報を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを月 15 回以上更新 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力発信には動画も有効だと思います。学校紹介動画を作り、H P に埋め込むとか YouTube にアップするのはどうでしょうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり教室の実施や校外でのイベント等への参加を推進する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・是非今後も積極的をお願いします。 ・コロナ禍で W E B 会議方式の催しが増えています。 ・生徒が学びを実感する場であり、中学生への P R にもなる良い取り組みです。
校務の円滑、かつ適切な実施を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が校務で共有サーバを使用する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・情報漏洩防止や働き方改革の視点でも重要だと思います。 ・情報管理体制などを明記した情報セキュリティ規程を作成してはどうでしょうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を心掛けたとする教員 70%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの教職員の価値観を大きく変えないと働き方改革は進まないと思います。しかしながら今まで築いてきた自分の価値観を覆すのはなかなかできませんね。教職員は「生徒のためには自分の時間を削ってでも対応するのが良い教員」という価値から脱却するのは大変です。 ・今後も引き続き、教員の多忙化解消に向けた改善に取り組んでいただきたいです。 ・先生方の多忙さは、校内での解決には無理があると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の点検の日を設け P F I 担当者との点検月 1 回以上実施 ・施設・設備の整備、省エネ・省資源への取組を進め、コスト意識を醸成し、消費電力量を削減 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や設備が多い学校なので大変だと思います。
		A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価を見る限り、成果目標は達成できているように感じます。 ・使用する生徒の意見も得て検討する必要を感じる。